王子製紙の兄弟達に申す（裏の申込書を切り取ってドシ〱申込んで下さい）

一、不景気と言ふものは資本家が　ウンと　もうけて　我々労働者を　ウンとしぼりあげた其むくいとして来るものだ　だから不景気になっても資本家は　ドコ迄も労働者を苦しめては　ならない義務がある。王子製紙などは兄弟達の労働によって　しこたま　もうけて　ウンと配当して　ウンと金をつみあげてあるのだ　兄弟等には　もうからないと　ごまかして居ても尚二割五分の配当をして居るではないか　もうからないと言ふて兄弟等の賃銀を安く　ふみたおそう――とするのだ　けれ共　とうぜん　[illegible]が出来ないから　何十年とかの紀念だと言ふので　時計だとか　わずかな金をくれて　それと　引きかへに　平均十円以上の収入を減じてしまった　兄弟よもらったものは　ホンの一時のものだ　とりあげられた賃銀は之れから永久のものだ　兄弟は　みな目をさまさなければならないときが来たのだ　資本家の親切心かしには　いつでも　どくやく　がはいって居るのだ　兄弟等は時計やわずかな一時金は　もどしても是非　もとの通りの収入の復活を要求せねばならぬ

二、兄弟よ　御互に朝の六時から弁当箱をさげて　夜の七時迄　せっせと働らいて一家族を養ふ事が出来ない　其れ処ではない　王子製紙では夜業の手当を出さないではないか　すべての世間の人達が　ねしづまって居る夜半に我々だけは働かなくては生きられないとは人と生れて来た　かいがないではないか　之れが人間の希望でせうか　夜業のために天から与へられた我々の生命も早死する様に之れるのだ　命のかり売りして居る

切取線

申込書

私事貴聯盟の綱領及び規約に賛成し加盟申込候也

大正　年　月　日

現住所

就職工場

職業　氏名　印

年　月　日生

日本労働聯盟御中